



三味線を稽古する昭和初期の谷崎潤一郎(兵庫県岡本梅ヶ谷の自宅で)

芦屋市
谷崎潤一郎
記念館
2017年度
秋の特別展

春琴抄

美しく驕慢な琴三味線師匠の春琴と、弟子の佐助の数奇な愛の物語「春琴抄」(1933年刊)。谷崎潤一郎(1886~1965年)は後に妻となる船場の御寮人、松子への恋と、自ら三味線を教わった検校父娘の立ち居ふるまいを元に、この名作を織りなしました。松子や検校の娘で地唄の名手だった菊原初子の愛用した着物類、琴や三味線、印画紙の形で残された創作ノート「松の木影」など約100点の資料によって、谷崎が作り上げた虚実の迷宮に分け入っていただきます。

※展示品は時期によって入れ替えがあります。



▲大阪の老舗薬種商の子女が着た振袖(9月16日~10月29日展示、大阪歴史博物館所蔵)

◀琴の刺繍をほどこした菊原初子着用の帯



虚と実の迷宮
ラビリンス

2017

9/16

土

12/10

日

【開館時間】午前10時~午後5時(入館は4時30分まで)

【休館日】月曜休館、祝日は開館し翌日休館

【入場料】一般:400円/大高生:300円

中学生以下無料 ※団体料金(20人以上)は2割引

※65歳以上、または身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方、ならびにその介護の方1人は半額



松子愛用の訪問着

2015年に印画紙で発見された創作ノート「松の木影」

芦屋市谷崎潤一郎記念館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12番15号 Tel:0797(23)5852/Fax:0797(38)3244

e-mail: ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp ホームページ: http://www.tanizakikan.com

○徒歩:阪神芦屋駅から南東へ15分 ○バス:阪急芦屋川駅・JR芦屋駅・阪神芦屋駅いずれも「緑町」下車、東へ徒歩1分

記念館アクセスマップ



駐車場:隣の美術博物館20台、図書館47台